

## 安達太良山の噴火警戒レベル

予報警報	対象範囲 レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。 ・噴火に伴う融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している。 【過去事例】なし 【予想される事例】1900年の水蒸気爆発が積雪期に発生した場合
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者の避難等が必要。 ・噴火に伴う融雪型火山泥流が発生し、居住地域まで到達すると予想される。 【過去事例】なし 【予想される事例】1900年の水蒸気爆発が積雪期に発生した場合
火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備。 登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。 ・中規模噴火が発生して、火口外に噴出物が飛び出す ・ベースサージ(爆風)、岩屑なだれ等 【過去事例】1900年7月17日:噴火、沼ノ平火口内で水蒸気爆発。火口内硫黄精錬所が吹き飛ばされ72名死亡、10名負傷 ・中規模噴火が予想される 【過去事例】なし
	火口から少し離れた所までの火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 沼ノ平火口内への立入規制等。 ・小規模噴火が発生し、沼ノ平火口内での噴石飛散 ・噴気、泥、硫黄等の噴出 【過去事例】1899年8月24日:噴火、沼ノ平火口で水蒸気爆発。直径40mの新火口生成。降灰東方数km。1997年4月頃~:沼ノ平火口底の地中温度上昇 ・小規模噴火の発生が予想される 【過去事例】なし
噴火予報	火口内等	1 (平常)	火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	沼ノ平火口内で危険な箇所への立入規制。 ・ごく小規模な噴気、泥等の噴出。 【過去事例】1996年9月:白色噴気30m、沼ノ平中央部で泥の噴出、直径100mに飛散。2000年2月:一時的に噴気300mまで上がる

2009年3月17日現在の状態

注1)ここでいう噴石とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散するものとする。